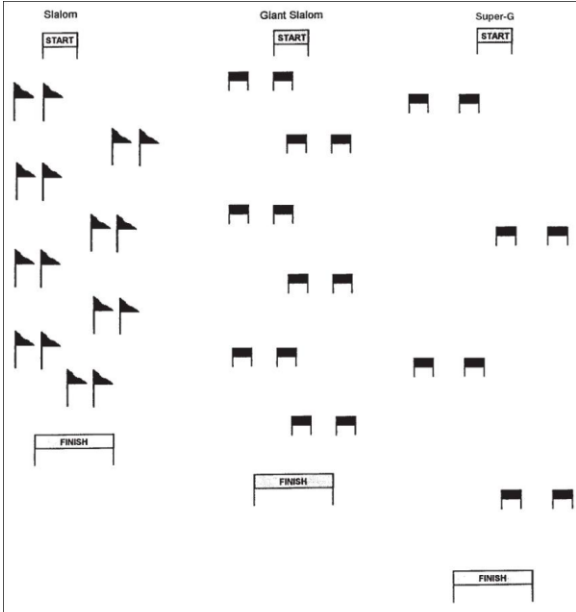
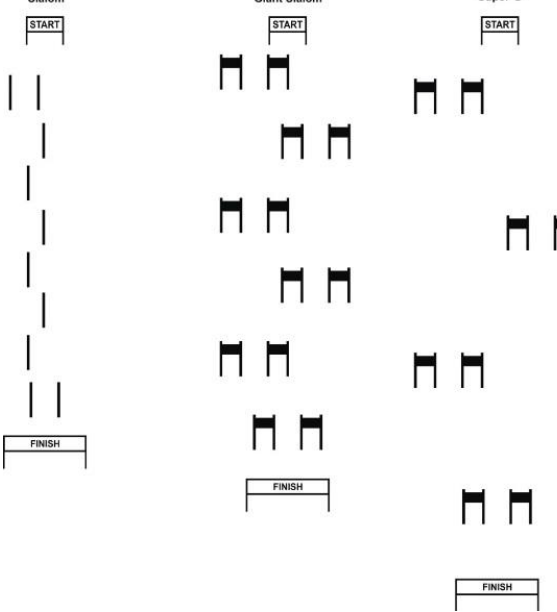




**Special Olympics**

2016年度 ルール変更 対照表

競技名:アルペンスキー

変更前の内容	変更後の内容
	<p>ルール変更対照表には、内容の変更があった箇所のみ記載しています。</p>
<p><b>セクションC-用具</b></p> <p>1. アルペン種目の全ての能力レベルの公式練習および競技会において、全ての前走者と競技参加者はアルペンスキーに適したヘルメットを着用しなければならない。ヘルメットを選ぶ時には、知識のあるアルペンスキー競技のコーチやスキーショップの店員の助言を受けた方が良い。(FIS ルール番号 614,2,3、または 627.6)</p> <p><b>コースレイアウト</b></p> 	<p><b>4.用具</b></p> <p>4.1 ヘルメット</p> <p>4.1.1 競技会および公式練習において、全ての前走者と競技参加者は FIS の要項を満たすヘルメットを着用しなければならない。柔らかい耳当てはスラロームに使われるヘルメットの場合のみ許可される。全てのヘルメットはタグをつけていなければならない、タグのつけてない競技者は競技を行うことができない。(FIS ルール番号 707)</p> <p>4.5.1 コースレイアウト</p> 

	4.5.5 安全のためにマーキングを使うこともできる。
<p><b>セクションEー競技ルール</b></p> <p>一般的なルールと修正</p> <p>f. 2 分間ルール: 競技の間に競技者が旗門線から外れた場合(転倒、旗門不通過、スキーが外れる等)、競技者はコースに戻るために、コースアウトした時点より 2 分間の猶予が与えられる。2 分以内にコースに戻れなかった場合や何らかの援助を受けた競技者は失格となる。失格は違反が起こった場所に一番近いゲートに配置された旗門員のゲート番号によって決定される。旗門員は責任を持って 2 分間を計る。</p> <p>2. ビギナーのアルペンスキーの種目</p> <p>c. スーパーグライド</p> <p>4) スキルレベル - ボーゲン程度の技能を有するスキーヤー</p>	<p><b>6. 競技ルール</b></p> <p>6.5 特別ルール</p> <p>6.5.1 競技の間に競技者が旗門線から外れた場合(転倒、旗門不通過、スキーが外れる等)、競技者はコースに戻るために、コースアウトした時点より設定された時間の猶予が与えられる。</p> <p>6.5.2 その時間以内にコースに戻れなかった場合や何らかの援助を受けた競技者は失格となる。失格は違反が起こった場所に一番近いゲートに配置された旗門員の旗門通過表によって決定される。初級者の制限時間は 2 分間とし、中級者や上級者は 1 分間とする。旗門員は責任を持って上記の時間を計る。</p> <p>&lt;削除&gt;</p>
	<p>8. 付録</p> <p>コースレイアウト</p> 